

中枢ニューロン死制御への若手研究者の挑戦

Challenge to control neuronal death in central nervous system by young scientists

古武 弥一郎¹, 久米 利明² (¹広島大学大学院医歯薬学総合研究科, ²京都大学大学院薬学研究科薬品作用解析学分野)

中枢ニューロンは複雑なネットワークを形成して高次機能を司っており、ニューロンの活動に支障をきたすとその異常が原因で種々の疾患の要因となる。細胞にとって最も重篤な障害は細胞自身の変性つまり細胞死であり、これを防ぐためには各々のニューロン死のメカニズムを解明すると共に、神経保護物質を探索し、それを治療薬に結びつけるための広範かつ精緻なアプローチが必要となる。本シンポジウムでは、神経変性疾患のみならず環境汚染化学物質のような環境因子を含めたニューロンの変性メカニズム、およびそれらに対する保護機構の解明を目指し、ユニークかつ最先端の研究を行っている若手研究者に様々な立場から最新の研究成果を御発表いただく。シンポ

ジストとして、毒性学、薬理学研究者に神経内科の臨床医を加え、様々な要因で起こる神経変性に対して鍵となる分子を標的とした予防・治療薬の開発に向けた戦略について様々な角度から議論したい。